

第 58 回大阪大谷大学薬学部地域連携学術交流会

パブリックヘルスと薬剤師

日時：2024 年 7 月 6 日(土) 14:30 ~ 18:00

会場：大阪大谷大学 博物館 2F (11-201教室) ★ ハイブリッド開催

参加費：500 円 (学生は無料)

★ 現地参加者は当日受付にてオンライン参加者は事前振込にてお支払いください。

●プログラム

14:30~ 開会挨拶 薬学部長 西中 徹 教授

□講演 1 多様化が進む地域社会と薬剤師

~ OMOTENASHI Project の紹介 ~

和歌山県立医科大学 薬学部

社会・薬局薬学研究室 助教 鈴木 渉太 先生

休憩

□講演 2 地域から発信する「ケーススタディ」

~放射線防護策としての安定ヨウ素剤の実装をふまえて~

京都大学大学院医学研究科

健康情報学分野 助教 西川 佳孝 先生

●本学術交流会の生涯研修認定単位は、日本薬剤師研修センター認定対象集合研修会として申請中です。
(日本薬剤師研修単位の交付は PECS(薬剤師研修・認定電子システム)を用いて行います。交付希望の先生方は事前に PECS への登録をよろしくお願いいたします。)

●参加登録方法 下記の申し込み専用サイトから氏名(フリガナ)、ご所属、連絡先(電話番号、メールアドレス)、希望の研修名等をご記入ください。(収集いたしました参加者の連絡先情報は本学薬学部にて厳重に管理し、本交流会の連絡ならびに今後の開催案内等に使用させていただきます。)

申し込み締め切りは、**6 月 27 日(木)**

申し込みサイト(右のQRコードからもお申込できます)

<https://forms.gle/NAopvXTzVxCzoqrDA>



●会場までのアクセス

最寄り駅：近鉄長野線 滝谷不動駅 (滝谷不動駅から大阪大谷大学まで、約 500 m)

◎近鉄電車をご利用になる場合：大阪阿倍野橋駅(JR 天王寺駅に隣接)から準急河内長野行きに乗車し滝谷不動駅へ(約 35 分)
または急行に乗車して古市駅で河内長野行きに乗り換え。

◎南海電車をご利用になる場合：南海高野線で河内長野駅へ行き、近鉄長野線に乗り換え滝谷不動駅へ(約 36 分)

●問合せ先：大阪大谷大学 薬学部 地域連携学術交流会 実行委員会 事務局

〒584-8540 大阪府富田林市錦織北 3-11-1 TEL: 0721-24-9580 E-mail:yakugaku@osaka-ohtani.ac.jp

第 58 回大阪大谷大学薬学部地域連携学術交流会

パブリックヘルスと薬剤師

●講演要旨

□講演 1 多様化が進む地域社会と薬剤師

～ OMOTENASHI Project の紹介 ～

和歌山県立医科大学 薬学部 社会・薬局薬学研究室

助教 鈴木 渉太 先生

社会の多様化に伴い、薬剤師が地域で接する患者や住民の多様性も増しており、その対応が急務である。

本講演では、特に急速に変化を続ける地域の外国人に焦点を当てる。日本に滞在する外国人は、短期の訪日客と中長期の在留者に大別される。演者が2016年から取り組む OMOTENASHI プロジェクト (Original MethOd at pharmacy To ENhAnce Support for Health Improvement) を紹介するとともに、多様化が進む地域社会においてこれからの薬剤師が果たすべき役割について論じる。

□講演 2 地域から発信する「ケーススタディ」

～放射線防護策としての安定ヨウ素剤の実装をふまえて～

京都大学大学院医学研究科 健康情報学分野

助教 西川 佳孝 先生

本講演では、薬剤師が現場において課題を発見し、解決策を見出す際に有用な事例研究法（ケーススタディ）について概説する。ケースレポートは特定の患者や生活者を対象とする一方、ケーススタディは施設や地域、出来事などの事例に着目して、未来への教訓を得る手法である。

医療者として地域の生活者を守るためのケーススタディの例として、福島県における放射線防護策（安定ヨウ素剤）の実施状況を取り上げ、参加者にも一緒に考えていただく。このほか、いくつかのケースを取り上げる。

薬剤師の地域診療においては、「患者」のみならず、病を抱えない「生活者」との対話も重要である。本講演では、Patient and Public Involvement（患者・市民参画）をふまえた、これからの臨床とパブリックヘルスにおける事例研究の在り方について考察する。

